

金沢大学における科学研究費助成事業による研究活動の不正行為について（概要）

1. 案件概要

平成22年7月23日に、金沢大学（以下、「大学」という。）医薬保健研究域医学系細胞移植学分野（以下、「細胞移植学分野」という。）の山崎雅英元講師（平成23年3月25日付懲戒解雇）に対し、WEB上に公開されている平成17～18年度科学研究費補助金基盤研究（C）研究成果報告書概要（以下、「概要」という。）を見た者が、接着分子ノックアウトマウスを用いて抗リン脂質抗体症候群のモデルマウスを作製した際の研究の論文紹介依頼及び本研究の実施場所、受精卵の保存の有無等について当該元講師に照会したところ、同月25日、回答に窮した同元講師が当該研究を実際には施行していないことを告白した。同日、照会者は、この事実を大学に報告し、大学が当該元講師に事実確認をしたところ、照会者の報告どおり、概要の記載の一部に虚偽のあることが判明したため、翌26日に受理し、「医薬保健研究域医学系におかれた、科学研究費補助金及び学会発表におけるデータ捏造及び虚偽記載に関する調査委員会」（以下、「部局調査委員会」という。）を設置して、調査を開始した。同年11月4日に、部局調査委員会は調査報告書をまとめ、医薬保健研究域長へ提出した。これを受け、同月10日、研究域長は、学長へ報告した。

平成22年11月19日、上記部局調査報告書に基づき、学長は、全学調査委員会の設置を決定した。同委員会における調査の結果、当該元講師は、学会発表抄録27報で捏造、改ざんを行ったと認定された。

2. 調査経過等

平成22年12月16日 第1回全学調査委員会開催

（以降、平成23年3月2日まで計5回開催）

（配分機関からの研究費の執行に係る調査依頼等対応）

平成29年12月25日 調査報告書提出

3. 調査結果の概要

【不正行為について】

山崎雅英元講師は、筆頭演者を務めた学会発表抄録27報において、捏造、改ざんを行った。

【研究費の支出について】

（1）科学研究費助成事業の研究課題について、当該課題の実績報告書または研究成果報告書に不正行為があったと認定した学会発表の記載があるものが計5課題あった。当該課題の研究内容・成果と同学会発表の内容に科学的・学術的な関連性が直接的に認められると判断したが、当該学会発表以外の論文・学会発表等も研究成果として同課題の報告書に記載されていることから、当該課題の研究活動は、研究目的及び研究計画に基づき、適正に遂行されていると判断した。

- (2) 上記(1)の研究課題において、不正行為と直接的に因果関係が認められる不正行為があったと認定した学会発表のための登録料や学会発表抄録への掲載料等の支出はなかった。同課題に係る支出は適正に使用されたことを確認し、不正使用はなかったと判断した。

〔関連する研究課題〕

別紙参照

※不正行為と直接的に因果関係が認められる経費の支出はなかった。

4. 機関による措置

- (1) 不正行為があったと認定した論文の取り下げ
該当なし

- (2) 大学における処分の状況

山崎雅英

金沢大学元講師

懲戒解雇（平成23年3月25日）

関係研究課題

課題番号	研究種目	研究課題名	研究代表者	配分額	
				総額 (千円)	年度別配分額 (千円)
12770559	奨励研究(A)	抗リン脂質抗体症候群における抗プロトロンビン抗体の多様性の病的意義の解明	山崎雅英 金沢大学医学部附属病院助手	2,300	平成12年度:1,500 平成13年度:800
14570970	基盤研究(C)	ループスアンチコアグラント対応抗原の多様性と接着分子を介する血栓形成機序の解明	山崎雅英 金沢大学医学部附属病院助手	3,600	平成14年度:2,400 平成15年度:1,200
17590985	基盤研究(C)	抗リン脂質抗体の誘導・発症に及ぼす接着分子の関与:接着分子KOマウスを用いた検討	山崎雅英 金沢大学医学部附属病院助手	3,500	平成17年度:2,200 平成18年度:1,300
19591101	基盤研究(C)	抗リン脂質抗体症候群におけるB細胞をターゲットとした新規治療法の開発	山崎雅英 金沢大学大学院医学系研究科講師	4,550	平成19年度:2,600 平成20年度:1,950
21591235	基盤研究(C)	抗リン脂質抗体症候群関連妊娠初期習慣性流産の責任抗体の同定と新規治療法の開発	山崎雅英 金沢大学医薬保健研究域医学系講師	2,990	平成21年度:1,690 平成22年度:1,300